

# 13th IR REPORT

December 1, 2019  
through November 30, 2020

証券コード: 6558

# cookbiz\*

食を、世界のまんやかに。



# 「食」中心の事業創造で ニューノーマルに対応し、 中長期的成長を目指します。

代表取締役社長  
藪ノ 賢次

1980年生まれ  
2004年大阪府立大学工学部卒業後、すぐに起業。  
幾つかのサービスの立ち上げを経験した後、  
2007年12月に当社を設立し、代表取締役社長に就任。



## 第13期の概況と今後の戦略

### 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方々や困難な状況におられる皆様の一日も早いご回復と、事態の収束を心よりお祈りいたします。

当社といたしましては、緊急事態宣言発令後、テレワークを本格導入し、入社時にはマスク着用やアルコール消毒などを行うとともに、求職者との面談はアクリルパネルを置いて実施するなどの対策を講じました。

また、厳しい環境下にある外食産業に貢献すべく、飲食店向けには求人掲載枠を一部無償で提供、求職者向けにはスキルアップ支援を目的とした無料のオンラインセミナーの開催を行いました。

今後は、withコロナにおける変化やニーズを的確に捉え、オン

ライン商談の導入による効率化や商品ラインナップの拡充により既存事業の強化を図るとともに、afterコロナを見据え、事業規模の再拡大に向けた取り組みを加速させてまいります。

### 第13期の振り返り

2020年11月期における当社を取り巻く外食産業の経営環境につきましては、2019年10月の消費税の引き上げに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発令による外出自粛要請や営業時間短縮要請によって業界全体の集客数が著しく減少する状況になっており、外食需要が減少する中で、外食産業の雇用情勢も大きく悪化しております。

この影響を受け、売上高は1,445百万円(前期比51.4%減)と大幅な減収となりました。営業利益は、希望退職の募集や広告宣伝費の削減、役員報酬の減額や従業員の休業対応などによるコスト削減により最大限経費を圧縮したものの、大幅な売上減少を

カバーすることは出来ず615百万円の赤字(前期は226百万円の営業利益)となりました。この厳しい結果を重く受け止めております。

当事業年度は人材紹介事業においては、より幅広く求職者及び求人企業に対しマッチングの機会をつくり出すべく京都市と札幌市に拠点の新規開設を行いました。また、求人広告事業においては、事業基盤の強化に向けて人員の採用を進めるとともに、サブスクリプション型スカウトサービスである「ダイレクトプラス」の提供など商品ラインナップの拡充を図ることにより営業力の強化に取り組みました。ただ、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大の影響による飲食店における求人ニーズの大幅な減少を受け、非常に苦戦を強いられました。新規開設拠点に関しても閉鎖をいたしました。

### 第14期の見通し及び今後の成長戦略について

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の制限が徐々に緩和され、景気悪化からの回復が期待されますが、現時点で収束を見通すことは出来ず、先行きは依然として不透明な状況にあります。また、消費者の価値観や消費者行動も密を避ける行動様式の浸透により、大きく変化しております。

こうした事業環境の下、withコロナ時代におけるニーズを的確に捉え、直近での売上回復と中長期での事業拡大に向けた対応策とに分け、様々な取り組みを進めてまいります。

まず、直近での売上回復に向けた取り組みとして、人材紹介事業においては、飲食業界の苦境を踏まえ、採用における負担を軽減出来る新サービスである「人材紹介プラス」の提供を開始し、求人広告事業においては、飲食業界の人材採用における採用要件の高度化、ピンポイント化を踏まえ、サブスクリプション型スカウトサービスである「ダイレクトプラス」の月額制プランの提供を

開始しました。

中長期的取り組みとしては、飲食需要の回復が当面望めない中で、飲食業界従事者の新たな雇用機会の創出、また収入の多角化による生活リスクの軽減を目的に、ワンデイバイト求人検索アプリケーションの「ワクみん」を開始する予定となっております。

短期・単発向け雇用サービスであるギグワーク市場は業種問わず拡大傾向にあるため、「ワクみん」では飲食業界にとどまらず、全業種の求人を対象としています。

人材紹介や求人広告といった既存事業の強化に取り組むとともに、既存事業における顧客基盤を活かした新規事業を開始することで、コロナ禍における売上の拡大、そして事業価値の向上を目指します。

以上から、翌事業年度(2021年11月期)の業績見通しにつきましては、売上高1,256百万円～1,356百万円、営業損失240百万円～175百万円、経常損失247百万円～183百万円、当期純損失245百万円～181百万円を予想しております。

「新しい働き方」や「新しい生活様式」など、かつての常識が通用しなくなる変化は飲食業界にとっては新たな一步を踏み出すチャンスでもあります。

当社では「食」を中心に付加価値の高い事業を創造し、ニューノーマルにおけるマーケットの新たな課題やニーズに対応し続けることにより、中長期的な成長を目指してまいります。

引き続き、当社にとって厳しい経営環境が続くと予想されますが、ミッションである「食に関わるすべての人の成長を実現する。」の下、求職者、求人企業とともに新しい時代を生き抜くために成長をし続け、飲食業界にとってなくてはならない存在であり続けることを目指して事業に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 中長期戦略の考え方

「飲食×人材」サービスを基盤としつつ、飲食業界の課題解決をドメインに、食に関わるすべての企業の成長を支援してまいります。

#### 飲食業界の課題

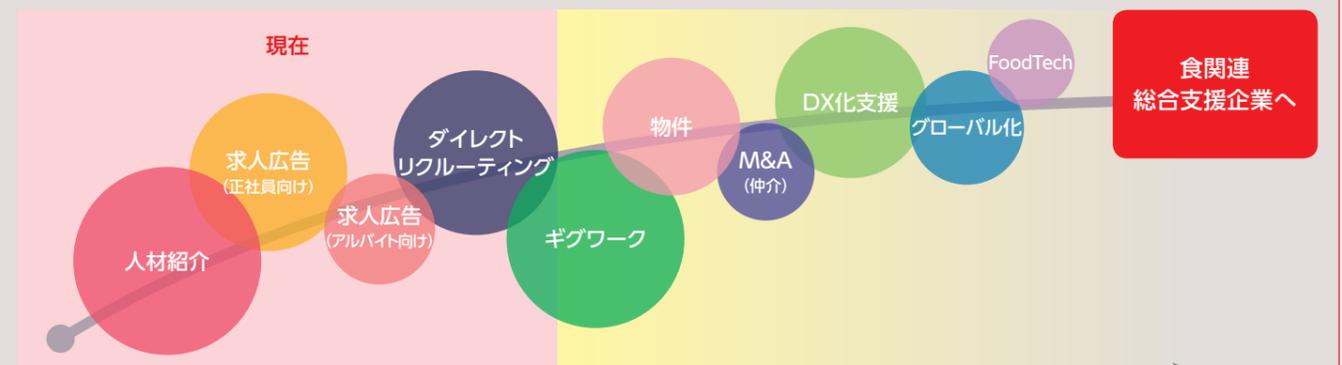
低い労働生産性
人材不足

#### 生産性向上のための打ち手

DX化による効率化
大規模化による効率化
人材の多様化・働き方の多様化

#### 取り組むべきソリューション

省人力化・DXソリューション
物件仲介
M&A仲介
ギグワーク



# Corporate Profile & Stock Information

## 会社概要 (2020年11月30日現在)

会社名 クックビズ株式会社  
設立 2007年12月10日  
資本金 481,248千円  
事業所 大阪本社  
新橋営業所  
名古屋営業所  
従業員数 119名(パート・アルバイトを除く)  
事業内容 《フード関連業に特化した以下事業》  
有料職業紹介事業/求人サイト運営事業/  
研修事業

## 役員 (2021年2月19日現在)

代表取締役社長 敷ノ 賢次  
取締役 生田 亮人  
社外取締役 吉崎 浩一郎  
監査役(常勤) 遠藤 隆史  
社外監査役 嶋内 秀之  
社外監査役 福本 洋一

## 業績ハイライト

### 売上高 (百万円)



### 経常利益 (百万円)



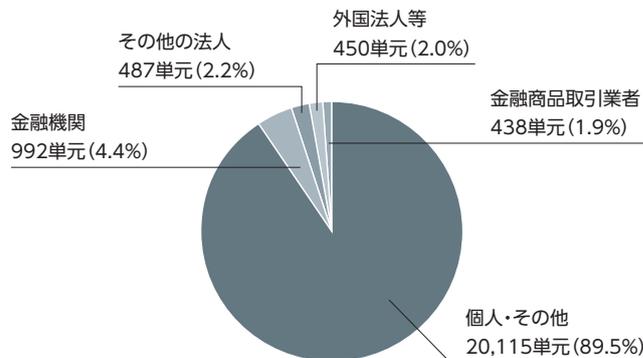
### 当期純利益 (百万円)



## 株式の状況 (2020年11月30日現在)

発行可能株式総数	7,000,000 株
発行済株式総数	2,249,691 株
株主数	1,700 名

## ●所有者別単元株式分布状況 (1単元:100株)



## 株主メモ

上場証券取引所 東京証券取引所(マザーズ市場)  
事業年度 毎年12月1日から翌年11月30日まで  
定時株主総会 毎年2月  
基準日 定時株主総会 11月30日  
期末配当 11月30日  
中間配当 5月31日  
公告方法 電子公告の方法により行います。  
ただし、電子公告によることができない事故  
その他やむを得ない事由が生じたときは、  
日本経済新聞に掲載を行います。  
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 大阪市中央区北浜4丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063  
同郵便物送付先 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
及び照会先 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
同ホームページ <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
アドレス

## クックビズ株式会社

〒530-0012 大阪市北区芝田2-7-18 LUCID SQUARE UMEDA 8階  
TEL:06-6374-9912 FAX:06-6131-6470



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

詳しくは当社ウェブサイトをご覧ください。 [クックビズ](#) [IR](#) [検索](#)